

はじめに

高岡市地域福祉計画とは

○全ての人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることのできる「地域共生社会」の実現のため、地域福祉推進の理念や福祉ビジョンを定めつつ、その基盤や体制づくりなどの総合的な方向性を示すもの。

地域福祉における課題

地域福祉を担う人材と地域の活動における課題

○地域福祉の担い手が不足している。
○地域の活動は、年齢や属性、目的別に様々な事業を開催しており、負担が大きい。
○介護・福祉・看護人材の育成・確保が必要

福祉関係団体ヒアリングの結果から

○地域で孤立し、支援につながらないケースがある。
○福祉教育、地域における世代間交流や居場所づくりが必要である。

計画策定の背景

地域社会の変化

○世帯規模が縮小化し少子高齢化の進展に伴う、家族や地域による育児、介護力の低下
○8050問題やダブルケア、孤立死、ひきこもりなど個人や世帯が抱える生きづらさやリスクが複雑化・複合化
○従来の高齢者、障がい者、子どもといった対象者ごとの縦割りの福祉サービスでは解決できないケースの増加
○新型コロナウイルス流行に伴う、これからの生活様式の変化が助長する地域生活課題への対応

国の施策方針

○制度、分野の『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が分野を超えて『丸ごと』つながることで一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に創っていく『地域共生社会』の実現を目指す。
○成年後見・再犯防止施策を市町村で推進する。

地域福祉推進のための施策の展開

基本目標1
助け合い、支え合える地域を作ろう
(地域づくり)



1 地域での見守り・声かけ体制づくり

(1) 民生委員・児童委員、自治会、ボランティア等の見守り活動の推進
(2) 見守り体制の充実

2 安全・安心の地域づくり

(1) 災害時における要配慮者への支援体制の充実
(2) 誰もが暮らしやすい環境づくり

3 誰もが集える場所・機会づくり

(1) 地域交流・地域福祉活動の拠点（場）づくり
(2) 地域活動への参加・交流のための情報提供

地域を基礎とする支え合いの視点の施策

・地域の担い手・事業の整理
・地域福祉活動の拠点（場）づくり など

基本目標2
みんなの暮らしはみんなで支えよう
(仲間づくり)



1 地域福祉に対する意識の醸成

(1) 権利擁護に関する普及啓発
(2) 地域や社会における福祉教育の推進

2 地域福祉を支える人づくり

(1) 地域福祉活動に新たに参加する人材の発掘
(2) 地域福祉を推進する人材の育成
(3) 福祉・看護の専門人材の育成・確保

3 ボランティア・NPO活動の促進

(1) 参加と交流が生まれる環境づくり
(2) 情報の発信と収集がしやすい環境づくり

人を育てる。人と人、人と資源をつなげる視点の施策

・学齢期からの福祉教育
・地域福祉活動に参加する担い手の発掘
・ボランティアセンターの機能強化 など

基本目標3
一人ひとりの暮らしを大切にすべく
しくみをつくらう
(しくみづくり)



1 福祉サービス・保健事業の充実と適切に利用できるしくみづくり

(1) 福祉サービス・保健事業の充実と適切な利用の促進
(2) 福祉・保健相談窓口での切れ目のない支援の実施

2 自立と社会参加を進める体制づくり

(1) 生活困窮者支援の充実
(2) 成年後見制度の利用促進に向けた取り組み
(3) 再犯防止に向けた取り組みの推進

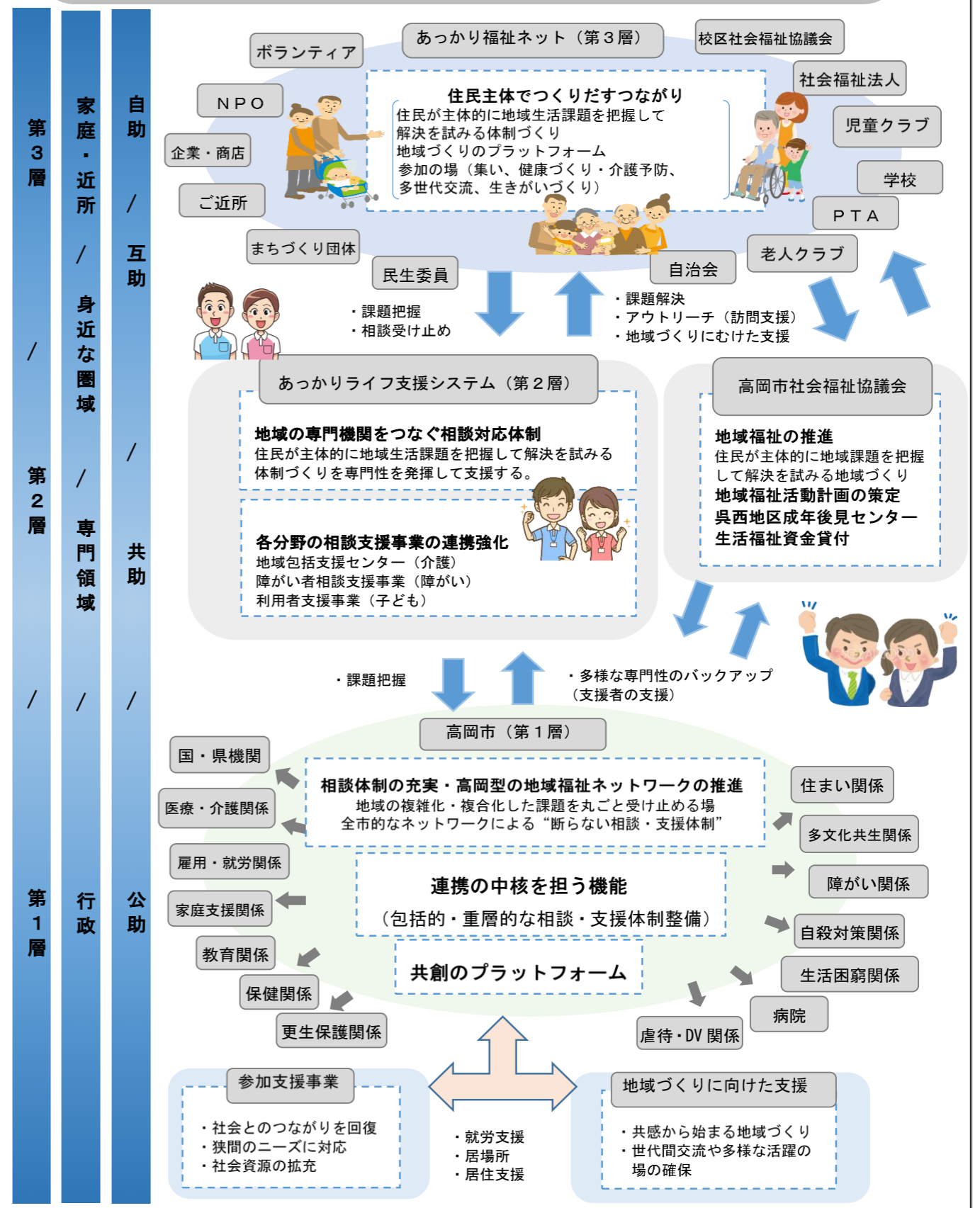
3 相談体制の充実・あらゆる福祉課題に対応する包括的で重層的な相談・支援体制の強化

4 高岡型地域福祉ネットワークの推進

横断的・総合的に支援が提供されるしくみづくりの視点の施策

・マルチアクセスで課題把握
・ネットワークで解決

地域共生社会の実現に向けた高岡型の包括的で重層的な相談・支援体制イメージ図
＝マルチアクセスで課題を丸ごと受け止め、重層的なネットワークで解決する＝



地域福祉計画と関連のあるSDGs

